

令和元年安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰



令和元年10月11日 於：首相官邸

令和元年安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰受賞団体

(団体名五十音順) ※ () は、推薦者

【防犯活動】

- | | | |
|---|------------------|----------|
| 1 | 大杉学区連絡協議会 | (愛知県警察) |
| 2 | 富田総ぐるみ子どもまもり隊 | (愛媛県警察) |
| 3 | 南花台防犯協力隊 | (大阪府警察) |
| 4 | 文教大学サイバー防犯ボランティア | (神奈川県警察) |
| 5 | 防府駅前よくし隊 | (山口県警察) |
| 6 | 星井町地区生活安全協議会 | (富山県警察) |
| 7 | 前川本町町会 | (埼玉県警察) |
| 8 | 南つくし野自治会 | (警視庁) |

【再犯の防止等に関する活動】

- | | | |
|---|--------------------------|-----------|
| 1 | 中井政嗣 | (矯正局) |
| 2 | 興進産業株式会社 | (矯正局) |
| 3 | 更生保護法人山梨以徳会 | (山梨県) |
| 4 | 札幌更生保護女性連盟 | (札幌保護観察所) |
| 5 | 高崎警察署少年補導員連絡会 | (群馬県警察) |
| 6 | 土岐保護区保護司会 | (岐阜県土岐市) |
| 7 | 特定非営利活動法人サンシャイン・ネットワーク | (福岡県) |
| 8 | 認定特定非営利活動法人神奈川県就労支援事業者機構 | (横浜保護観察所) |

功 績 概 要

推 薦 者	愛知県警察
団 体 名	大杉学区連絡協議会
所 在 地	愛知県名古屋市
代 表 者	川村 和光
功 績 の 概 要	<p>昭和25年、学区運営の基本方針を決める会議として発足。自治会、PTA、防犯協会等21の団体で構成。</p> <p>毎日の登下校時間帯における児童への付き添い、交差点等での立哨による見守りを協議会で整備したトランシーバーにより不審者情報をタイムリーに共有するなど効率的に実施。</p> <p>週1回の青パトを活用したパトロール、週4回の学区を3つに分けての徒歩によるパトロールのほか、自主制作した防犯プレートを取り付けた自転車によるパトロールを実施。</p> <p>関係機関との協力による高齢者を対象とした防犯教室のほか、小学校との連携による全校児童を対象とした不審者侵入訓練を実施。隊員の士気高揚を図るため、日頃の活動に対する謝意表明の場として、「感謝の会」を小学校と協力して開催。</p> <p>月に1回、「大杉学区あんぜんまちづくり情報」を作成し、防犯意識の高揚を呼びかけるほか、協議会の活動をホームページにて周知。</p> <p>自治体の補助事業を活用して防犯カメラを設置するなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	愛媛県警察
団 体 名	富田総ぐるみこどもまもり隊
所 在 地	愛媛県今治市
代 表 者	秋山 辰郎
功 績 の 概 要	<p>平成16年、地区の不審者情報の増加への対策として発足。PTA、婦人会、自治会等25の団体で構成。</p> <p>毎日の登下校時間帯に立哨による見守りを実施し、下校時には児童の付き添いも実施。</p> <p>年5回のこどもまもり隊統一行動日、毎月1回の青パト出動日を設定し、組織的かつ計画的な活動を継続。</p> <p>地区の小・中学校の通学路沿いに防犯看板、青色防犯灯を設置するなど、児童が安心して学び生活できる環境整備を推進。</p> <p>「田んぼの学校」と銘打った農業体験活動など、児童、保護者と会員がふれあい、交流できる取組を実施。</p> <p>子供の健全育成及び会員の士気高揚を図るため、善い行いをする児童生徒への表彰や、児童からお礼の手紙を贈呈する「ありがとうこどもまもり隊集会」を開催。</p> <p>毎月発行される「富田公民館だより」にて、活動内容や予定を通知し、地域住民に防犯意識の高揚を図るなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	大阪府警察
団 体 名	南花台防犯協力隊
所 在 地	大阪府河内長野市
代 表 者	野口 潤三
功 績 の 概 要	<p>平成17年、児童が犠牲となる痛ましい事件が発生したことを受け、発足。自治協議会からの強い呼びかけに賛同した住民により構成。</p> <p>毎日の登下校時間帯に立哨及び青パトによる見守りを実施するほか、学童保育を終えた児童らを自宅周辺まで送り届ける付き添いを実施。</p> <p>地域防犯活動の拠点である「南花台防犯ステーション」において関係機関と連携し、「安全安心の灯台」として地域住民の困りごと相談や要望に対応。</p> <p>年間を通して地域行事を開催し、隊員と子供との間に「顔が見える」関係を構築。</p> <p>地元警察と良好な関係を築き、協働した見守りを実施するとともに小学校とは見守り活動を通じて把握した情報や子供を取り巻く環境についての意見交換会を定期的実施。</p> <p>地域住民等とのふれあいを大切にした活動は、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	神奈川県警察
団 体 名	文教大学サイバー防犯ボランティア
所 在 地	神奈川県茅ヶ崎市
代 表 者	池辺 正典
功 績 の 概 要	<p>平成25年、大学が持つ情報発信能力、研究力、活動力を活かした社会貢献活動を推進するため結成。</p> <p>違法有害情報を発見、関係機関に通報するサイバーパトロールに随時取り組むほか、違法有害情報を検出するシステムの研究・開発に取り組む。</p> <p>年間を通して、児童・生徒等、対象の年齢に合わせた情報モラルの向上を目的としたサイバー教室を開催。</p> <p>他の防犯ボランティアやサイバー防犯ボランティアに対し、研究・開発したシステムを活用したサイバーパトロール実施要領についての研修会を開催。</p> <p>研究・開発したシステムを活用して多くの違法有害情報を効率的に発見し、IHC等関係機関に通報。</p> <p>他の大学生防犯ボランティアとも積極的に意見交換を実施し、活動の裾野拡大に向けた活動を推進するなど、サイバー空間の犯罪防止に大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	山口県警察
団 体 名	防府駅前よくし隊
所 在 地	山口県防府市
代 表 者	富永 幹夫
功 績 の 概 要	<p>平成15年、JR防府駅前周辺における街頭犯罪を抑止するため、地域住民が中心となり発足。</p> <p>毎日の登下校時間帯に通学路における立哨や徒歩パトロールを行うほか、随時、青パトを活用したパトロールを実施。</p> <p>定期的に駅周辺繁華街の徒歩パトロールを実施するほか、駅前等における放置自転車の整理、地下道の清掃及び公園花壇の植栽、整備等の環境浄化活動を実施。</p> <p>防犯パトロールの開始前には目的と活動重点を確認し、パトロール終了後は反省検討会を実施し、各隊員が問題意識を持ち活動に取り組む。</p> <p>子供の見守りのほか、警察や自治会、社会福祉協議会、民生委員等と連携、協働して、自転車盗難被害防止活動、独居高齢者宅訪問活動、被害防止講習会の開催、餅つき等の行事開催等、幅広い活動を展開しており、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	富山県警察
団 体 名	星井町地区生活安全協議会
所 在 地	富山県富山市
代 表 者	濱谷 隆平
功 績 の 概 要	<p>昭和35年、「星井町校下防犯組合連合会」として発足し、平成5年に現在の名称に変更。</p> <p>「星井町地区スターパトロール隊」を組織し、徒歩と青パトによるパトロール、児童の見守りを効率よく実施するほか、全町内会の賛同を得てタスキとメモ帳を16町内会の住民に配布し、散歩や買い物など日常生活の中で気軽にパトロールに取り組む「ながらパトロール隊」を推進。</p> <p>子供達の有事の駆け込み場所としての「子ども110番の家」を地区内に約180箇所設置し、協力世帯にステッカー等の掲示と見守り活動への協力を依頼。</p> <p>警察と連携した「カギかけキャンペーン」や「振り込め詐欺被害防止キャンペーン」などを展開。</p> <p>構成員である防犯連絡所、女性防犯ボランティア等とは受け持ち日を決めて防犯活動に取り組んでおり、警察署や小学校からの防犯情報は、会員や地域住民に対して伝達網等を活用していち早く発信。</p> <p>市の補助金を活用して商店街や通学路に防犯カメラを設置するなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	埼玉県警察
団 体 名	前川本町町会
所 在 地	埼玉県川口市
代 表 者	本橋 克巳
功 績 の 概 要	<p>昭和60年、地域住民の防犯意識の高揚、地元小・中学生の更生と健全育成を目的として発足。</p> <p>毎日の登下校時間帯に通学路における児童の見守り、あいさつ運動を実施するほか、車両によるスピーカー広報を実施。</p> <p>独自で作製したパトロールマニュアルを携行しての夜間パトロールを実施し、夏休みや年末年始等は、児童の保護者と共に少年非行防止に重点を置いた「愛の一声パトロール」を実施。</p> <p>年2回、地元小中学校の教職員やPTA、警察官を招いて犯罪情勢やパトロールルート等の情報共有を目的とした意見交換会を実施。</p> <p>小中学校では防犯ボランティアに感謝を伝える「感謝の会」が開催されるなど、児童や保護者と顔の見える関係を構築。</p> <p>意見交換会や地域行事の開催、学校が発行する広報紙やホームページ等で活動の周知に努めるほか、警察から配信される情報を基に防犯だよりを発行し、回覧板により住民に情報を共有するなど、安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	警視庁
団 体 名	南つくし野自治会
所 在 地	東京都町田市
代 表 者	最上 久美子
功 績 の 概 要	<p>平成12年、町内で多発する空き巣被害を減らすため、「自分たちの街は自分たちで守る」という信念のもと、発足。</p> <p>自治会内の区域を5支部に分けてそれぞれの支部にリーダーを置き、各支部ごとに計画的に徒歩や青パトによるパトロール、登下校時間帯における児童の見守りを実施。</p> <p>年1回、自治会内の5支部が集まり、一斉パトロールを実施し、その際に警察署員による防犯講話を実施。</p> <p>定期的にゴミ拾い活動や花壇作り等の環境美化活動を実施。</p> <p>毎年、新規青色防犯パトロール活動従事者を対象とした講習会を開催し、防犯意識の高揚を図るため、防犯講話を実施。</p> <p>地域住民の理解と協力を得るため、毎月発行する地区の広報紙に活動状況や犯罪情報を掲載するなど安全安心なまちづくりに大きく貢献。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	法務省（矯正局）
氏 名	中井 政嗣
職 業	<p>飲食業 （千房ホールディングス株式会社代表取締役会長） （千房株式会社代表取締役会長）</p>
功 績 の 概 要	<p>お好み焼き店を運営する千房株式会社においては、以前から社会に公表して刑務所出所者の受入れを行ってきたところ、氏は、平成25年、日本財団の支援を受け、他企業にも呼び掛けて、刑務所や少年院から出所（院）した者を積極的に雇用することを目的とした「職親プロジェクト」を開始。</p> <p>同プロジェクトは、刑務所出所者等の自立更生や社会復帰に向けて、就労機会の提供にとどまらず、教育・住居・仲間作りなど、多方面から包括的に支えることで、「やり直しのできる社会」を作ることを目指すもので、刑務所出所者等に対する就労支援に新たな社会的価値を付与。</p> <p>現在、134社の企業が同プロジェクトに参加し、雇用実績は200名を超えている。氏は、同プロジェクトの中心的存在として、氏が代表取締役会長を務める会社において刑務所出所者等を積極的に雇用するとともに、参加企業の相談に応じ、プロジェクトのけん引役ともなっている。</p> <p>同プロジェクトの必要性は今後更に高まるものと考えられ、先駆者である氏の取組の社会的意義は大きく、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	法務省（矯正局）
団 体 名	興進産業株式会社
所 在 地	兵庫県神戸市 （向島工場：広島県尾道市）
代 表 者	河合 秀昭
功 績 の 概 要	<p>昭和38年から、興進産業株式会社向島工場（有井作業場）において、広島刑務所尾道刑務支所の受刑者に就労の場を提供するとともに、昭和43年からは、同工場で就業する受刑者の生活の場として同社敷地内に寮舎（誠心寮）を提供。</p> <p>有井作業場は、全国に4施設しかない開放的施設の一つとして、一般社会の生活に可能な限り近い環境の中で、受刑者の自発性・自律性を涵養し、円滑な社会復帰に向けた処遇に寄与。</p> <p>また、同社社員の教育や訓練のために設置している施設・設備を、受刑者に対する玉掛技能やクレーン特別教育の職業訓練に提供しているほか、同職業訓練における講義・実技講習の講師として、同社社員を派遣。同職業訓練を受けた受刑者は、造船業、金属加工、建設業などの幅広い分野への就労が期待できる資格・技能を身に付けている。</p> <p>これまでに1,300名を超える受刑者を受け入れ、受刑者の改善更生及び円滑な社会復帰に多大な貢献をするなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	山梨県
団 体 名	更生保護法人山梨以徳会
所 在 地	山梨県甲府市
代 表 者	飯島 忠
功 績 の 概 要	<p>明治39年に「保護慈善会」として設立し、大正14年に現在の名称に改称。</p> <p>山梨県唯一の更生保護施設「山梨以徳会」を運営し、行き場のない刑務所出所者等を積極的に受け入れ、自立更生を図るため、個々の状況に応じて、福祉、就労及び医療等の支援を実施。</p> <p>行き場のない刑務所出所者等の支援活動に加え、地域行事に積極的に参加するとともに、自治会に対し同更生保護施設の会議室を提供するなど、地域理解の促進に努めている。</p> <p>平成27年からは、同更生保護施設を退所した高齢者を対象として、ポスターの袋詰めや小物のケース作りなどの内職を行う場を提供する取組を開始。これまでなかった施設退所後のフォローアップ支援を行うことで、地域での孤立を防ぐ活動を展開。</p> <p>長年にわたり、行き場のない刑務所出所者等の再犯を防止し、自立更生を支援するなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	法務省（札幌保護観察所）
団 体 名	札幌更生保護女性連盟
所 在 地	北海道札幌市
代 表 者	穴田 節子
功 績 の 概 要	<p>昭和29年から活動していた札幌市更生保護婦人会が中心となって、昭和37年に道央地域を活動範囲とする8地区会で結成された。その後加盟地区会が増加し、現在は38地区会で構成。</p> <p>更生保護の普及と地区会間の連絡調整を活動の基本とし、ミニ集会、子育て支援活動等の犯罪予防活動、保護観察対象者の社会貢献活動や少年院の出院準備教育への協力、更生保護施設や矯正施設での更生支援活動などを実施。</p> <p>平成12年から、夕張郡長沼町において、地域の高齢者同士の交流を目的とした「ふれあいサロン」等を定期的の実施するなど、高齢者の地域での孤立を防いでいる。</p> <p>また、平成16年から、更生保護施設において、寮生に家庭料理を提供しつつ、話し相手となる取組を行い、平成26年から、札幌刑務支所の釈放前教育に参加して、女子受刑者の釈放後の不安に対して助言する取組を行うなど、彼らの更生を支えている。</p> <p>長年にわたり、女性団体としての特色をいかして、矯正施設や更生保護施設の入所者の更生を支援するなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	群馬県警察
団 体 名	高崎警察署少年補導員連絡会
所 在 地	群馬県高崎市
代 表 者	吉本 賢二
功 績 の 概 要	<p>昭和43年に群馬県少年警察協助手として創設し、平成23年に現在の名称に改称。</p> <p>各交番駐在所単位で支部を結成し、各支部の実情に応じた補導活動、登下校時の見守り活動等を実施するとともに、多くの少年が集まるイベントにおいては、支部の垣根を越えた補導活動を実施。</p> <p>また、非行防止標語を添えたティッシュケース等を子どもたちに一声掛けながら配布する「愛の一声運動」、幼児を対象に防犯紙芝居を行う「幼児防犯教室」等の活動を実施。</p> <p>そのほか、非行防止キャンペーン等にも積極的に取り組むとともに、非行少年等の立ち直り支援活動では、群馬県警少年課と協力するなどして、農業体験による居場所づくり活動を継続的に実施。</p> <p>独自の補導活動や非行防止キャンペーン等、多岐にわたる立ち直り支援活動に精力的に取り組むなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	岐阜県土岐市
団 体 名	土岐保護区保護司会
所 在 地	岐阜県土岐市
代 表 者	出口 満知子
功 績 の 概 要	<p>昭和24年に旧土岐郡一帯を活動範囲とする多治見保護区として発足し、市町村合併等により、昭和53年に土岐市を活動範囲とする保護司会となる。</p> <p>平成13年度から市内の全小学校で「薬物乱用防止出前講座」を実施。平成15年度から自治会と連携し、若者への声掛けを重点に行う「土岐市駅周辺パトロール」を実施。平成18年から中学生に「一日保護司」を委嘱し、“社会を明るくする運動”強調月間における街頭啓発活動を実施。平成20年度から市内の全中学校で地域の課題などを語る場として「中学生との交流座談会」を実施。</p> <p>平成23年度に土岐更生保護サポートセンターの開所を契機に、一般市民を対象にした非行等の相談窓口である「ひまわり相談室」を開設。</p> <p>長年にわたり、関係団体等と連携しながら、再犯防止活動を展開するなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	福岡県
団 体 名	特定非営利活動法人サンシャイン・ネットワーク
所 在 地	福岡県福岡市
代 表 者	副田 茂喜
功 績 の 概 要	<p>平成19年、青少年の健全育成、犯罪予防、少子高齢化対策等の事業を行い、明るい社会に寄与することを目的として、保護司、警察OB、少年補導員などにより設立。</p> <p>平成22年から、非行や不登校、ひきこもり、怠学等の問題を抱える少年の居場所づくりや立ち直り支援を目的として、甘夏狩り、バーベキュー、勉強会、クリスマス会などのイベントを定期的開催。</p> <p>保護者やボランティア等に対し、非行防止と立ち直り支援の必要性を浸透させる講演活動を実施。</p> <p>会員の知識と経験を生かして、非行少年等が参加しやすい活動を企画し、当該活動に参加した少年の生活環境の改善等につなげるほか、次世代のボランティア育成にも力を注いでいる。</p> <p>これまでに多くの非行少年等の立ち直りを支援し、再非行防止に大きく貢献するなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



功 績 概 要

推 薦 者	法務省（横浜保護観察所）
団 体 名	認定特定非営利活動法人神奈川県就労支援事業者機構
所 在 地	神奈川県横浜市
代 表 者	齋藤 文夫
功 績 の 概 要	<p>平成21年、神奈川県内において、事業者等の立場から犯罪や非行をした者の就労を支援し、その再犯を防止する取組を行うことを目的として設立。</p> <p>平成26年度から法務省の更生保護就労支援事業、平成27年度から厚生労働省の刑務所出所者等就労支援事業、平成28年度から神奈川県による職場定着支援事業を受託。これらの事業を中心に活動を展開し、地域に根ざした草の根の広報活動を積極的に行い、協力雇用主の新規登録と、刑務所出所者等の就労確保に多大な実績を残し、また、被雇用者である刑務所出所者等と雇用主の双方に寄り添ったきめ細かい相談・支援を行い、その離職防止、職場定着を推進。</p> <p>平成30年には、無料職業紹介事業の許可を受け、更なる機動的な就労支援の展開に向けた体制を整備。</p> <p>多様な関係機関等と連携しつつ、独自事業を展開して、刑務所出所者等の就労支援を実施するなど、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>

